番号	76	永池溜池改良事業竣工記念碑　佐賀県知事　池田　直		
所在地		武雄市北方町大渡		
災害別		昭和２４年（１９４９）８月　ジュディス台風　水害		
目的別		記念碑	建立年	昭和４５年５月
特記事項		明治４３年（１９１０）水害の記述もある		

永池溜池は、白石平野の灌漑用水を確保するため、成富兵庫茂安（１５６０～１６３４）によって寛永時代（１６２４～１６４５）末に築造されたといわれている（築造年は不明）。

溜池は上中下３段になっており、当時の佐賀では最大の貯水量を誇った。以来、この溜池は白石平野の貴重な水源として営々と守られてきた。しかし明治４３年（１９１０）には豪雨のため下溜池が決壊し、昭和２４年（１９４９）８月１６日のジュディス台風による豪雨で再び下溜池堤塘決壊の被害を受けた。

その後、大規模県営事業で改良工事が行われ、この碑はその竣工を記念して昭和４５年に建立された。なお、最上段の三段目の溜池は、県営防災ダム事業防災溜池工事により、洪水調整機能を持った近代的なダムとして改修され、平成９年（１９９７）に竣工した。

碑文には、「此溜池は今より三百五十余年前成富茂安にて計画す　寛永時代に於いて上中下三溜池を計画せられ配水利益地千八百町に及び農業に努力すとの事を伝え聞く、然るに明治四十三年に下溜池堤塘中程より豪雨により決壊し溜池の損害甚だしく修復するも今も跡形残っている　尚昭和二十四年八月下溜池樋管工事中豪雨により堤塘破損し再度の災害を受く　復旧に対し県当局及び一般住民の協力により復興す　此溜池は古代の築堤にして記録なく現在において歴史を知ること能わず、此点遺憾至極なり　昭和二十七年法の改正

により水利組合を土地改良区に改められ当永池土地改良区は白石北部土地改良区と同じ配水地域にて相方合併進み昭和三十七年合併し杵島土地改良区と称す　同年いにしえの溜池堤塘は雑木林雑木繁茂し堤塘余水吐は亀裂を生じ危険に至る　大規模県営事業にて改良工事を行う事となり蔵堂の県道より上溜池まで運搬道路三溜池築堤事業　昭和四十四年度事業以って総事業費壱億五千万を有する事業竣工記念として奉碑する　　杵島土地改良区」
（左面）杵島土地改良区　理事長　田中末四郎　理事、監事等（略）

防災ダム事業により改修された 3 段目の溜池

国土地理院電子国土 Web

写真中の石碑には「永池溜池樋管水築標　明治 44 年 2 月□□」と記されている